

時々点描（国内）					
音楽にかまけている					
column	音楽にかまけている	vol.54	202003	コロナのなかのマイアベア、そしてドイツの文化的底力	長木誠司
column	音楽にかまけている	vol.53	202002	アントワープの『ヘントの鍛冶屋』	長木誠司
column	音楽にかまけている	vol.52	202001	目の離せない女性指揮者たち	長木誠司
カデンツア					
column	カデンツア	vol.63	202012	優しい歌～若林顯 ピアノ・リサイタルで	丘山万里子
column	カデンツア	vol.62	202011	音楽の未来って（6）オーケストラの未来～落合陽一×日フィルプロジェクトVol.4に思う	丘山万里子
column	カデンツア	vol.61	202010	音楽の未来って（5）だから挑め～コロナ禍での批評考	丘山万里子
column	カデンツア	vol.59	202008	戦後75年 繼ぐ・伝える	丘山万里子
column	カデンツア	vol.58	202007	音楽の未来って（4）続・楽譜を読むとは	丘山万里子
column	カデンツア	vol.57	202006	音楽の未来って（3）楽譜を読むとは～日本のリミックス力	丘山万里子
column	カデンツア	vol.56	202005	音楽の未来って（2）～音響グローバリゼーションの先に～	丘山万里子
column	カデンツア	vol.55	202004	音楽家の騒音性難聴への朗報	丘山万里子
column	カデンツア	vol.54	202003	新型肺炎による自粛の中で	丘山万里子
column	カデンツア	vol.53	202002	言葉の壁～「コレベティトゥアの世界」より～	丘山万里子
column	カデンツア	vol.52	202001	音楽の未来って（1）～希望の灯火～	丘山万里子
五線紙のパンセ					
column	五線紙のパンセ	vol.63	202012	人生の出会い 点と点のつながりによる軌跡 3. ロサンゼルス	田中カレン
column	五線紙のパンセ	vol.62	202011	人生の出会い 点と点のつながりによる軌跡 2. パリ	田中カレン
column	五線紙のパンセ	vol.61	202010	人生の出会い 点と点のつながりによる軌跡1. 東京	田中カレン
column	五線紙のパンセ	vol.59	202008	夏とババロア	今村俊博
column	五線紙のパンセ	vol.58	202007	淡路東宝といしいひさいち	今村俊博
column	五線紙のパンセ	vol.57	202006	いつもおたまがない。	今村俊博
column	五線紙のパンセ	vol.56	202005	日本における舞台芸術の創造的活動	原田敬子
column	五線紙のパンセ	vol.55	202004	2) 日本の南北地域に継承される音文化から見えてきた「日本」について	原田敬子
column	五線紙のパンセ	vol.54	202003	1) 日本における西洋芸術音楽の行方	原田敬子
column	五線紙のパンセ	vol.53	202002	芸術家は他人を凌ぐ趣味を持たなくてはいけない！？	近江典彦
column	五線紙のパンセ	vol.52	202001	誰が日本の音楽界を弱っしくしているのか	近江典彦
パリ・東京雑感					
column	パリ・東京雑感	vol.63	202012	「遊び」の衰退がもたらした民主主義の危機	松浦茂長
column	パリ・東京雑感	vol.62	202011	学芸と自由 ランボーをパンテオンに入れると……	松浦茂長
column	パリ・東京雑感	vol.61	202010	トランプ大統領が負けてもアメリカに民主主義は戻らない？	松浦茂長
column	パリ・東京雑感	vol.59	202008	カミュ『ベスト』の予言	松浦茂長
column	パリ・東京雑感	vol.58	202007	奴隸=<アメリカの原罪>へのあがない	松浦茂長
column	パリ・東京雑感	vol.57	202006	新型コロナを手なずけた女性リーダーたち 自由を捨てる優しさ	松浦茂長
column	パリ・東京雑感	vol.56	202005	新型コロナは自然が突きつけた最後通牒？	松浦茂長
column	パリ・東京雑感	vol.55	202004	重い喜び、軽い喜び	松浦茂長
column	パリ・東京雑感	vol.54	202003	<結婚>に尊厳を回復してくれた同性カップル	松浦茂長
column	パリ・東京雑感	vol.53	202002	ハリー王子とメーガン妃追放に成功した英國大衆紙	松浦茂長
column	パリ・東京雑感	vol.52	202001	方向を見失った英語教育	松浦茂長

小人閑居為不善日記					
column	小人閑居為不善日記	vol.63	202012	鬼と魔女と妖精の旅——《鬼滅の刃》、《魔女見習いをさがして》、《羅小黒戦記》	noirse
column	小人閑居為不善日記	vol.62	202011	狂っているのは誰か——《スパイの妻》について	noirse
column	小人閑居為不善日記	vol.61	202010	TENETの「主人公」とは何者なのか——クリストファー・ノーランは「トランプ時代」をどう描いたか	noirse
column	小人閑居為不善日記	vol.59	202008	プレイリスト、祈りの時間——ディラン、WAVES、日本沈没	noirse
column	小人閑居為不善日記	vol.58	202007	BLMをよく知るための「白人」映画——ジョン・フォードからランボーへ	noirse
column	小人閑居為不善日記	vol.57	202006	懐かしい「コロナショック後の時代」——《エンドゲーム》とマノエル・デ・オリヴェイラの旅	noirse
column	小人閑居為不善日記	vol.56	202005	ソーシャル・ディスタンス・ゲーマーズ——「アマビエ」とタルコフスキイ	noirse
column	小人閑居為不善日記	vol.55	202004	パンデミックの中、映画を見る——《キャッツ》と《ブレードランナー》	noirse
column	小人閑居為不善日記	vol.54	202003	ハリウッド・スタンダードの行方——《パラサイト》と《リチャード・ジュエル》	noirse
column	小人閑居為不善日記	vol.53	202002	《パラサイト》とビリー・アイリッシュが紡ぐ絶望のかたち	noirse
column	小人閑居為不善日記	vol.52	202001	家族というコンテンツスター・ウォーズとドクター・スリーブ	noirse
撮っておきの音楽家たち					
column	撮っておきの音楽家たち	vol.63	202012	小柴昌俊＆遠山慶子	林喜代種
column	撮っておきの音楽家たち	vol.62	202011	レナード・バーンスタイン	林喜代種
column	撮っておきの音楽家たち	vol.61	202010	ジュリエット・グレコ	林喜代種
column	撮っておきの音楽家たち	vol.61	202010	レオン・フライシャー	林喜代種
column	撮っておきの音楽家たち	vol.59	202008	ペーター・シュライヤー	林喜代種
column	撮っておきの音楽家たち	vol.58	202007	ネッロ・サンティ	林喜代種
column	撮っておきの音楽家たち	vol.57	202006	ヘルムート・ヴィンシャーマン 100歳	林喜代種
column	撮っておきの音楽家たち	vol.56	202005	ピーター・アドルフ・ゼルキン	林喜代種
column	撮っておきの音楽家たち	vol.55	202004	サー・アンドラーシュ・シフ	林喜代種
column	撮っておきの音楽家たち	vol.54	202003	トレヴァー・ピノック	林喜代種
column	撮っておきの音楽家たち	vol.53	202002	ジャン・チャクムル	林喜代種
column	撮っておきの音楽家たち	vol.53	202002	マティアス・バーメルト	林喜代種
column	撮っておきの音楽家たち	vol.52	202001	フランソワ=フレデリック・ギイ	林喜代種
column	撮っておきの音楽家たち	vol.52	202001	鈴木大介	林喜代種
漢語文献学夜話					
column	漢語文献学夜話	vol.63	202012	Depth of Stars	橋本秀美
column	漢語文献学夜話	vol.62	202011	Mencius escapes	橋本秀美
column	漢語文献学夜話	vol.61	202010	vagueness and construction	橋本秀美
column	漢語文献学夜話	vol.59	202008	How they behave?	橋本秀美
column	漢語文献学夜話	vol.58	202007	Gutenberg in China	橋本秀美
column	漢語文献学夜話	vol.57	202006	Democracy from the Heaven	橋本秀美
column	漢語文献学夜話	vol.56	202005	Words, the Word, and Concepts	橋本秀美

天球図（海外）

ウィーン留学記

column	ウィーン留学記（最終回）	vol.58	202007	ウィーンの森の物語——終わり、そして始まり	蒲知代
column	ウィーン留学記	vol.57	202006	オペラにおけるジェンダー・ギャップ——男装のレオノーレ	蒲知代
column	ウィーン留学記	vol.56	202005	ゲーテの『ファウスト』——オペラ、演劇、イエリネクの二次戯曲	蒲知代
column	ウィーン留学記	vol.55	202004	オーストリアのコロナ対策	蒲知代
column	ウィーン留学記	vol.54	202003	ホームレスと浪費家——ビグマリオン劇場とリンツ州立劇場から	蒲知代
column	ウィーン留学記	vol.53	202002	ウィーンの性とベルンハルト・ラングの『輪舞』	蒲知代
column	ウィーン留学記	vol.52	202001	ノーベル賞作家ペーター・ハントケの無言劇	蒲知代

カリフォルニアの空の下

column	カリフォルニアの空の下	vol.63	202012	バーチャル・ミュージカルへの参加	須藤英子
column	カリフォルニアの空の下	vol.62	202011	オンライン生活とコンサート	須藤英子
column	カリフォルニアの空の下	vol.61	202010	オンライン教育と子どもたち	須藤英子
column	カリフォルニアの空の下	vol.60	202009	アートとマインドフルネス	須藤英子
column	カリフォルニアの空の下	vol.58	202007	“STEAM”教育におけるアートの役割	須藤英子
column	カリフォルニアの空の下	vol.57	202006	オンライン上の芸術教育プログラム	須藤英子
column	カリフォルニアの空の下	vol.56	202005	アメリカのオンライン・アート事情	須藤英子
column	カリフォルニアの空の下	vol.55	202004	オンライン生活のなかのアートの役割	須藤英子
column	カリフォルニアの空の下	vol.54	202003	教育のデジタル化	須藤英子
column	カリフォルニアの空の下	vol.53	202002	スマートスピーカーのある暮らし	須藤英子

ルネサンスと鳩時計——東京人から見たスイス

column	ルネサンスと鳩時計	vol.63	202012	一時帰国③ レジェ、オザンファン、ル・コルビュジエ	秋元陽平
column	ルネサンスと鳩時計	vol.62	202011	一時帰国②隠喩としての機械	秋元陽平
column	ルネサンスと鳩時計	vol.61	202010	一時帰国① 紙幣のなかの建築家	秋元陽平
column	ルネサンスと鳩時計	vol.59	202008	オーベルマンの谷で（3）	秋元陽平
column	ルネサンスと鳩時計	vol.58	202007	オーベルマンの谷で（2）	秋元陽平
column	ルネサンスと鳩時計	vol.57	202006	オーベルマンの谷で（1）	秋元陽平
column	ルネサンスと鳩時計	vol.56	202005	サッフォーから安楽死へ（2）	秋元陽平
column	ルネサンスと鳩時計	vol.55	202004	サッフォーから安楽死へ（1）	秋元陽平
column	ルネサンスと鳩時計	vol.54	202003	ルツェルン湖のハインツ・ホリガー（2）	秋元陽平
column	ルネサンスと鳩時計	vol.53	202002	ルツェルン湖のハインツ・ホリガー（1）	秋元陽平

特別寄稿／評論					
column	特別寄稿	vol.63	202012	私のフランス、私の音 『私が出会った作曲家と子孫達。聴くということ その1	金子陽子
column	評論	vol.63	202012	野田秀樹×井上道義 モーツアルト《フィガロの結婚》～庭師は見た！～小論	相馬巧
column	評論	vol.63	202012	西村朗考・覚書 (6) 西村と朔太郎～『『青猫』の五つの詩』	丘山万里子
column	特別寄稿	vol.62	202011	私のフランス、私の音 (9) コダーエシステム、東欧の響きと風味	金子陽子
column	特別寄稿	vol.62	202011	黒の対岸	チコーニヤ・クリスチアン
column	評論	vol.62	202011	西村朗考・覚書 (5) 歌曲『涅槃』と『輪廻』～レコーディングで	丘山万里子
column	特別寄稿	vol.61	202010	私のフランス、私の音 (8) 聴衆と作品 vs コンクール。	金子陽子
column	特別寄稿 (最終回)	vol.61	202010	エピローグ～パウル・ザッハー財団訪問記 (6)	浅井佑太
column	評論 (連載5、最終回)	vol.61	202010	強制収容所の音楽—アウシュヴィッツのオーケストラ	藤井稻
column	評論	vol.61	202010	西村朗考・覚書 (4) 寂光院にて～『寂光哀歌』	丘山万里子
column	評論	vol.60	202009	西村朗考・覚書 (3) 鳴野～原光景 (前編)	丘山万里子
column	評論	vol.60	202009	被爆ピアノと記憶の継承 (1)	能登原由美
column	評論	vol.59	202008	西村朗考・覚書 (2) 鳴野～原光景 (前編)	丘山万里子
column	評論	vol.58	202007	西村朗考・覚書 (1) 高畠への道	丘山万里子
column	特別寄稿	vol.58	202007	私のフランス、私の音 (7) 発見の旅	金子陽子
column	特別寄稿	vol.58	202007	バーゼルの壳春宿 (後編)～パウル・ザッハー財団訪問記 (5)	浅井佑太
column	特別寄稿	vol.57	202006	私のフランス、私の音 (6) 女性であること親になること	金子陽子
column	特別寄稿	vol.57	202006	『フーガの技法』の未完の途絶と〈無=死〉	齋藤俊夫
column	評論	vol.57	202006	伊福部昭一独り立てる蒼鷺 3.〈記憶の塔〉としての『土俗の三連画』	齋藤俊夫
column	特別寄稿	vol.56	202005	私のフランス、私の音 (5) 言葉に埋もれて	金子陽子
column	特別寄稿	vol.56	202005	バーゼルの壳春宿 (前編)～パウル・ザッハー財団訪問記 (4)	浅井佑太
column	特別寄稿	vol.56	202005	中根秀夫 映像上映会『ちいさなくに - in a small realm』	言水ヘリオ
column	特別寄稿	vol.56	202005	時間 (とき) の寝息	チコーニヤ・クリスチアン
column	評論	vol.56	202005	伊福部昭一独り立てる蒼鷺 2.『日本狂詩曲』は民族性を横断する	齋藤俊夫
column	特別寄稿	vol.55	202004	私のフランス、私の音 (4) 音響と録音の不思議な世界	金子陽子
column	特別寄稿	vol.55	202004	音楽は止まらない	藤井郷子
column	評論	vol.55	202004	伊福部昭一独り立てる蒼鷺 1.だが蒼鷺は動かぬ	齋藤俊夫
column	評論	vol.55	202004	(連載5) 大阪からベルリンへ (番外編)	藤井稻
column	特別寄稿	vol.54	202003	私のフランス、私の音 (3) 音(と味)のアイデンティティ	金子陽子
column	特別寄稿	vol.54	202003	『愛のあるところ嫉妬あり』～パウル・ザッハー財団訪問記 (3)	浅井佑太
column	評論	vol.54	202003	闇に潜む声：『ジョーカー』『シェルノブイリ』にみるヒドウル・グドナドッティルの音楽	能登原由美
column	特別寄稿	vol.53	202002	私のフランス、私の音 (2) 偉大な室内楽	金子陽子
column	評論 (連載4)	vol.53	202002	強制収容所の音楽—アウシュヴィッツのオーケストラ	藤井稻
column	評論	vol.53	202002	「敗戦75年」の音楽文化 (3) ～音楽の戦争責任～	戸ノ下達也
column	特別寄稿	vol.52	202001	私のフランス、私の音 (1) 留学、ヨーロッパに住むということ	金子陽子
column	特別寄稿	vol.52	202001	Ambition is the last refuge of the failure～パウル・ザッハー財団訪問記 (2)	浅井佑太
column	評論 (連載3)	vol.52	202001	強制収容所の音楽—アウシュヴィッツのオーケストラ	藤井稻

創刊5周年特別企画 本誌レギュラー執筆陣のエッセイ13篇 ～『私がものを書き始めたのは』『私が書く理由』					
column	私がものを書き始めたのは	vol.61	202010	恋文	丘山万里子
column	私が書く理由	vol.61	202010	「書く」ことの苦と楽	大河内文恵
column	私がものを書き始めたのは	vol.61	202010	過去、現代、未来との対話	大田美佐子
column	私がものを書き始めたのは	vol.61	202010	言葉の無い歌	小石かつら
column	私が書く理由	vol.61	202010	転落と執筆と人生と	斎藤俊夫
column	私がものを書き始めたのは	vol.61	202010	「書く」ということ——音楽と向き合い、表現する	佐野旭司
column	私がものを書き始めたのは	vol.61	202010	自分史を振り返りながら	谷口昭弘
column	私が書く理由	vol.61	202010	記憶と記録	藤堂清
column	私が書く理由	vol.61	202010	演奏会評覚え書き	西村紗知
column	私が書く理由	vol.61	202010	空想する女	能登原由美
column	私がものを書き始めたのは	vol.61	202010	初めてのヨーロッパ放浪で	林喜代種
column	私がものを書き始めたのは、そして書き続ける理由	vol.61	202010	私がものを書き始めたのは、そして書き続ける理由	藤原聰
column	私が書く理由	vol.61	202010	感動の共有は可能か？	松浦茂長